

人権感覚が広がる世の中を目指して

年度末になり一年を振り返ってみました。昔がよかったという意味ではありませんが、人と人との接し方が淡白で、ある意味冷たく利己主義的になってきているような気がします。

特に行政の方に接する機会が多い中で感じるのは、市民のために真摯に頑張っている職員の方々がいる一方で、意識が薄く利己主義的な方の存在が、その評価を下げている懸念です。マイナスを見つけることも必要ですが、プラスを見つけ評価する目線が、私たち市民にも必要だと思います。



もちろんマイナスでよいということではなく、いつもプラスであるべきが行政サービスの基本です。行政の使命は、市民の暮らしを守ることです。それには、職場での上下関係や様々な人間関係の中で、人権意識を持ってみんなが認め合い助け合い絆を深めて同じ目標に向かっていくことが必要です。それをまとめる上席は、いろいろなところに目を配らなければなりません。また行政のあるべき姿として見本とならなければいけません。

民間と異なり市民を預かる立場として、山本五十六の言葉のように、「やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ」を実践しつつ、使命感が求められるのが行政における上席なのだと思います。部下や他の職員のためではなく、市民のたが優先する立場故に、格差社会が広がり自殺者が増えている現代社会において、その役割の重要性は増すばかりです。

4月から新年度になりますが、私どもも人権意識の大切さを変わらず訴えていきます。行政とも意見交換しながら協働し、人権感覚が広がる世の中を目指して頑張っていきます。

2019年度活動報告 (2019年4月～2020年3月)

人権移動教室

甲府市、甲斐市の小中学校にて、子どもたちに、命の大切さや思いやりを伝え、人権について知ってもらう人権移動教室を10校で開催しました。



人権啓発パネル展

甲府市、甲斐市、昭和町にて、国境なき医師団の活動、児童たちの感想文、著名人の人権メッセージなどを展示し、命の大切さを考えるパネル展を12回開催しました。



人権啓発講演会・映画鑑賞会

甲府市内にて7回の人権啓発講演会を実施し、人権感覚と人権意識の必要さを伝えました。また、甲府市、甲斐市にて人権啓発映画鑑賞会を2回開催しました。



相談業務

人権問題に関する相談を年間通して受け、いじめ、貧困、差別、パワハラ、セクハラなど、相談者の立場に立って解決に向けたサポートをしてきました。特に子どものいじめ問題が多く、子どもたちの心のケアが必要だと感じた1年となりました。

行政との協働

山梨県、甲府市、甲斐市を中心に、継続して行政機関と懇話会・勉強会、意見交換を実施してきました。市民のために誰もが笑顔で安心して暮らせる社会の実現を目指し、行政と協働・連携して人権問題に取り組んでいます。

※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：株式会社成心設備、西関東開発株式会社、株式会社ウィルマート、株式会社 R&C、株式会社フジコー

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立北新小学校 (六年生女子)

「私の考える幸せ」

私の考える幸せというのは、ケがなく事故なく病気なく、しっかりと子供を育てて死んでいくというものだ。仕事を成しとげ、幸せな家庭を築けば、未練なく死んでいけると思ったのだ。

今日の人権ということについての授業で、人権とは自分の命と、自分の幸せを守るものだ^だと知った。また、自分の幸せだけでなく人

の幸せも考える、人に気を配れるようにというのを教わった。杉藤さんの、ニューヨークに行くとその話を聞いて、本当にそんな優しい人が本当にいるのだ^だと思った。外人さんの気配りが杉藤さんの幸せにつながり、また外人さんの幸せにもな^なったのだ^だと感じた。

私は今日教わったことそして、かりと頭に入れて、自分の幸せも、人の幸せも、自分の人権も、人の人権を大切に生活していきな^ないと思^もう。

甲府市立北新小学校 (六年生男子)

人権について

ぼくは、今回の人権教室で国境なき医師団がすごくいろいろなことをボランティアでやっていること知りました。あと、人権は難しい言葉ではなく自分の命と幸せを守ることというかんたんに説明できる言葉だということも知りました。杉藤さんの話を聞いて、ぼくも自然と人に親切でできる人になりたいと思いました。だからそのために、人に親切にできる

チャンスがあったらはずかしくても人に親切にしたいと思いました。テレビを見て地球上にこんなになんてな^なるのか起きているなんてすごくびっくりしたし、これわいな^なと思いました。国境なき医師団が自分の命をかけてでも人を命を守^もって、い^いて本当にすごいなと思いました。国境なき医師団ほどすごいことをできないかもしれないけれど、体の不自由な人とかかいた^たら、親切的な行動をしてい^いきたいなと思いました。